

令和6年4月

各高等学校卓球部顧問様

確認事項およびお知らせ

広島地区高体連卓球専門部

平素より広島地区高体連卓球専門部の活動に対し、ご理解とご協力を頂きありがとうございます。大会にあたりましては以下の事項をご確認ください。また、新年度に顧問の先生が新しく替わられる場合、同封の大会要項、およびこの文書内容の伝達をよろしくお願いいたします。

1. ユニフォームについて

- 現在問題なく着用できるユニフォームは、袖にJTTAの赤ワッペン付きのものです。ただし、高体連主催大会においては「広告付きユニフォーム」が使用禁止とされていますのでご注意ください。

※「広告付きユニフォーム」は、日本卓球ルールにおいて「通常用いる競技用服装メーカーの商標、シンボルマークあるいはネームは、全面積が24cm²以下であること。」と定められており、このほかに認められるのは「競技者が所属するチームに関わる広告（高体連主催大会の場合は選手が所属する学校の校章や学校名など）」のみになります。

- 新入生がユニフォームを持っていない場合、体育の授業で使用する体操服では試合に出られません。その場合は上級生のユニフォームを借りるなど、学校で工夫してルールに規定してあるユニフォームを着用するようご指導ください。

2. 団体戦のオーダーの組み方および試合順序について（従来通り）

- 1・2番にシングルス、3番にダブルス、4・5番にシングルスを置きます。シングルスには1回しか出場できません。
- シングルスとダブルスには重複して出場できます。ただし、1・2番のシングルスに出場する選手同士がダブルスを組むことはできません。（1・4番、2・5番、4・5番等、それ以外の組み合わせは可）シングルスに出ていない選手がダブルスに出ても構いません。
- 試合は番号の若い順に行います。例えば2台使用して1番と2番が同時に試合を行いどちらかが早く終わった場合、3番のダブルスができないからといって先に4番のシングルスを入れることはしません。ダブルスと4番のシングルスが同時にできる場合は、1・2番の試合終

了後にその2つの試合を行います。また、4番ができないからといってダブルスと5番を同時に入れることはしません。

- 特に指示のない場合は3点先取とします。つまり、どちらかのチームが3つ勝った時点で試合を終了します。ただし、3番と4番を同時に行った結果4番の試合が先に終わり、それで決着がついたとしても、3番の試合は最後まで行います。4番と5番についても同様です。

3. アドバイザーについて

(1) 団体戦

- 団体戦でベンチに入れるのは登録された選手と監督1名のみです。監督は日本卓球協会に監督として個人登録をし、なおかつ地区高体連に監督登録をしている人となります。当該校の教員以外の方が監督としてベンチに入る場合は、前述の登録の他に、地区高体連に外部指導者として登録する必要があります。
- 当日ベンチに入る監督は、試合の申込時点で監督欄に名前が記入してある人となりますが、当日の朝オーダー提出までに本部に申し出て変更することは可能です。1つの大会で原則として1名が監督となりますが、試合が二日にわたる場合、やむを得ぬ事情で二日目に監督を変更することは認めるが、その場合は必ず本部に申し出てください。また、一日の中での変更は認めません。
- ベンチに入る監督は、必ず日本卓球協会の役職者章を着用してください。

(2) 個人戦

- アドバイザーが認められた個人戦でベンチに入れるのは、その大会にエントリーされた同じ学校の選手またはその試合の申込時点で監督欄に名前が記入してあるその学校の監督1名のみです。監督は日本卓球協会に監督として個人登録をし、なおかつ地区高体連に監督登録をしている人となります。当該校の教員以外の方が監督としてベンチに入る場合は、前述の登録の他に、地区高体連に外部指導者として登録する必要があります。
- 1つの試合のアドバイザーは1名とし、途中で交代することはできません。また、1人が同時に2つ以上の試合のアドバイザーをすることはできません。
- アドバイザーは試合途中からベンチに入ってもよいですが、一旦ベンチから離れた場合はそのベンチに戻ることはできません。またその後他の人がそのベンチに入ることもできません。

- ベンチに入る監督は必ず日本卓球協会の役職者章を着用してください。アドバイザーとして選手がベンチに入る場合は、ゼッケンを着用もしくは所持してください。

4. 選手の変更について

(1) 団体戦

- 第一試合のオーダー提出期限までに申し出があった場合、変更を認めます。大会二日目以降の変更は認めない。

(2) 個人戦

- シングルスは大会当日の変更は認めない。
- ダブルスは大会当日、ペアのうちの一人が何らかの事情で出場できない場合、受付時に申し出があればその一名の変更を認める。ただし、新たに出場できるのは、そのダブルスの試合にエントリーしていない選手のみです。また、ペアの両方が出場できない場合は棄権とする。

ご不明な点については、広島地区審判長(広島工業大学高等学校 八百野真人)までお問い合わせください。